

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 泉台 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

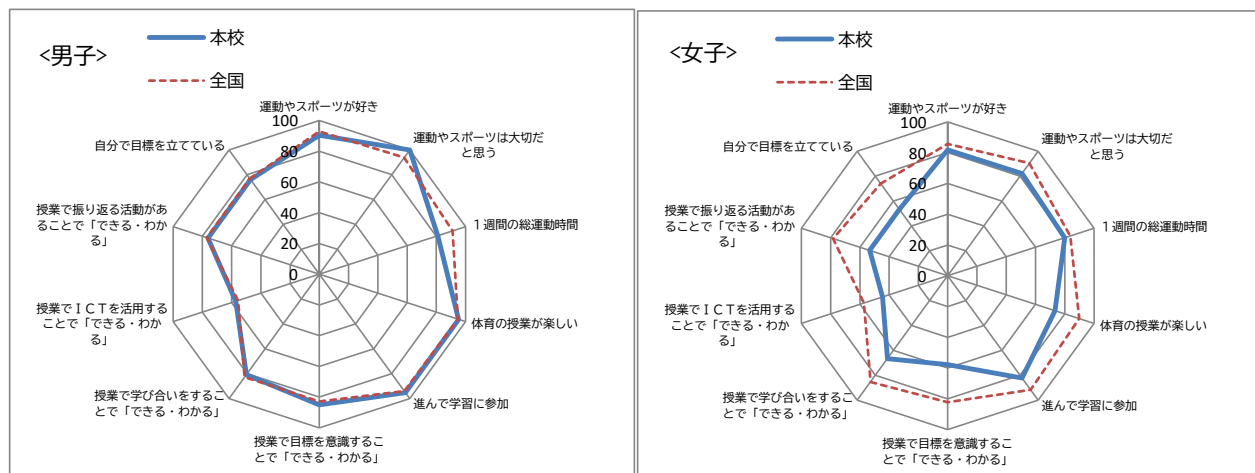
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目	○							○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目	○				○			○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

「運動やスポーツは大切だ」「体育の授業が楽しい」「体育の授業に進んで参加している」「体育の授業で目標を意識している」などの設問について肯定的に回答しているが、男女で格差が見られる。本年度の後半は、運動場の全面改修工事のため、休み時間等の運動量の確保が難しかったことから、一週間の体育の授業以外の運動の時間が男女とも全国に比べて低い。このことからみんなが楽しくなるような運動場の設定や意欲化を図った体育の授業の改善が必要である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

今後も継続して体育の授業では、学び合いをすることで「できる・わかる」といった主体的な学びのある授業に取り組んでいく。具体的にはICT機器を効果的に活用して、技のポイントを可視化したり、話し合い活動で自分の考えや他の考えを交流することで考えを深めるなど、更に学び合いのある授業を目指していく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

児童活動の一環として、今まで取り組んできた全校児童による「体力アップ週間」や「運動まつり」の活動を更に活性化したり、「縦割り大縄集会」などの運動に親しむ活動を積極的に行ったりして、運動量の確保や運動に対する意欲化を図っていく。